

編修趣意書

教育基本法との対照表

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-125	小学校	国語	国語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
38 光村	国語 507	国語五 銀河		

1. 編修の基本方針

「心を，動かす。言葉が，動かす。」

子どもたちは，予測困難な社会の中で，さまざまな変化に主体的・積極的に向き合い，他者と協働しながら課題を解決していくことが求められています。この教科書で学ぶ子どもたちが，未来社会を切りひらき，強く生きていくための言葉の力と豊かな感性を身につけられるよう，また，確実な力の習得を子どもたち自らが実感し，国語を学ぶ達成感や充実感につなげていけるように，次のことを基底において編修しました。

1 確かな国語の力を育む

—— 何を，何のために，どう学ぶのかが，ひと目で分かる教科書です。

学習指導要領の「三つの柱」を視覚的に分かりやすく示しています。子どもたち自らが学習の見通しをもって，主体的に取り組むことができるようにしました。また，3領域の学習に関する基礎的・基本的技能が着実に身につくように，教材を学習過程に沿って構成しました。

2 言葉の豊かさ，論理的思考力と感性を培う

—— 言葉を増やししながら，言葉に親しんだり，言葉を使って考えたりする力を育てる教科書です。

子どもたちが，言語文化や言葉に興味・関心をもてるよう，優れた作品・文章を多数用意するとともに，語彙を豊かにし，思考力を育て，自分の表現にいかしていけるような教材・資料を設けました。

3 国語の学びを，多方面へ広げ，深め，つなげる

—— 言葉を通して「学ぶこと」の楽しさと，人とつながる喜びを実感できる教科書です。

国語で学んだことを，国語の学習や教科書の中だけに閉じることなく，自分で整理したり，考えたり，発信したりすることで，身につけた力をさらに強化し，生きる力に大きく転化していけるようにしました。



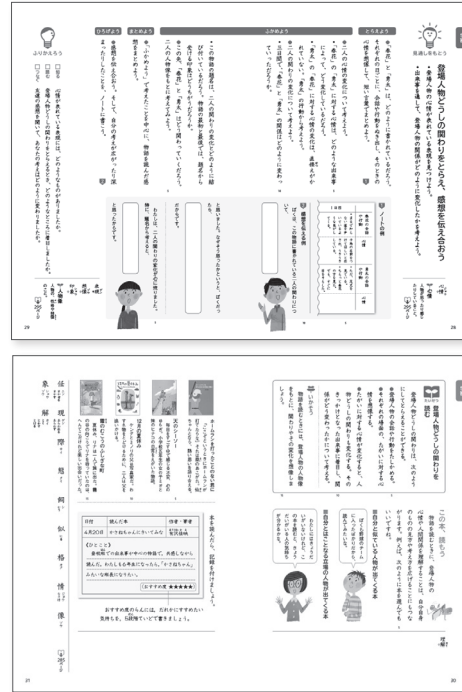
1

確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのが、ひと目で分かる教科書です。

「学習」(手引き)：見通しとゴールを明確にした学習への取り組みができるようにしました。

- 冒頭には、「単元目標(つきたい力)」と「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の目標を設けました。
- 学習への取り組み方が、子どもたち自身に明確に分かるように、上下二段組みに構造化しています。上段は、学習過程に沿って課題を設け、下段は、上段の課題に取り組むための視点や、言語活動の型を示しています。
- 「ふりかえろう」は、3観点の評価に対応して、「知る(知識・技能)」「読む(思考・判断・表現)」「つなぐ(主体的に学びに向かう態度)」の項目を立てました。
- 課題は、自分で考えて予測したり類推したりしながら取り組めるよう、また、自分の考えを友達と共有し広げていけるよう工夫して作成しました。
- 「学習」には、身につけた力を確認し、汎用的に活用することができる「たいせつ」と、読書に親しむ態度に広げる「この本、読もう」を設けました。



「なまえつけてよ」学習(手引き)

単元扉：「読むこと」教材への期待を高め、その教材で身につける力を確認できます。

「どんなことを学ぶのか」「どんな教材なのか」について、まず、この扉の場で確認します。「単元目標」「教材名」と、内容を予感させる「リード文(耕し)」で教材へ円滑にいきないます。「これまでの学習」において、既習の学習も合わせて確認できるため、つけた力を意識しながら新しい学習に臨むことができます。



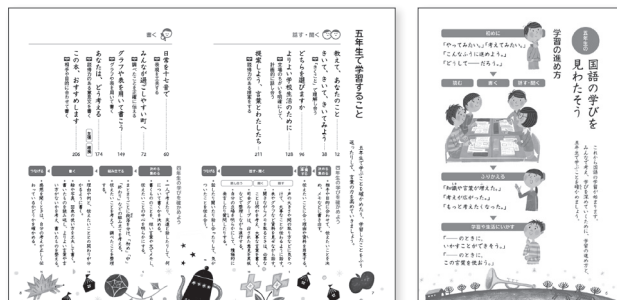
「読むこと」単元の扉



「読むこと」と「書くこと」の複合単元の扉

「国語の学びを見わたそう」：1年間の国語学習の進め方と学習全体を見渡せます。

冒頭は、「学習の進め方」と「五年生で学習すること」で構成しています。1年間で学習する「教材」「領域」「たいせつ」「学習用語」「前学年の学習」を一覧することができ、「どう学ぶのか」「何の力をつけるのか」を確認したり、学習が進む中でも、いつでも振り返ったりすることができる、学習の全体像を見渡すときに有効に活用できるページです。



「五年生の国語の学びを見わたそう」

2

言葉の豊かさ、論理的思考力と感性を培う

—— 言葉を増やしながら、言葉に親しんだり、言葉を使って考えたりする力を育てる教科書です。

思考や表現の助けとなる言葉・語彙にふれる場を数多く設定しました。

[季節の言葉]

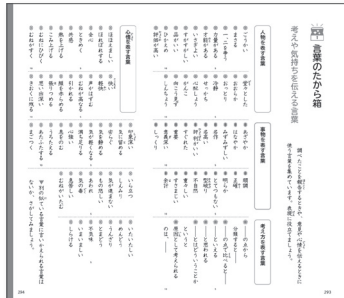
- 年間4か所、「枕草子」の冒頭と、季節を感じる言葉や短歌・俳句を、美しい写真とともに掲載しています。自分たちの身の回りの季節の風景を見つけ、表現活動につなげていきます。帯単元として学習することも可能です。

[言葉のたから箱]

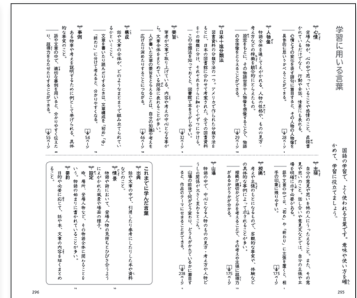
- 2年以上の各巻巻末に、思考や表現の助けとなるよう、その学年に応じた語彙を「考えや気持ちを伝える言葉」として提示するとともに、国語の学習で用いる大切な言葉を「学習に用いる言葉」として整理しています。



「春の空」(季節の言葉)



「言葉のたから箱」



3

国語の学びを、多方面へ広げ、深め、つなげる

—— 言葉を通して「学ぶこと」そのものの楽しさと、人とつながる喜びを実感できる教科書です。

「国語」で学習したことを、他教科や日常生活の場面と結び付けていかせる場を特設しました。

[特設教材：じょうほう]

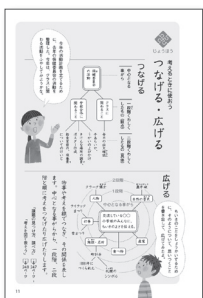
- 学習指導要領で新設された「情報の扱い方に関する事項」を分かりやすく教材化しました。情報を的確に理解し、表現につなげたり自分の考えの形成にいかしたりしていけるよう、2～6年まで系統立てて設けました。

[コミュニケーションコラムの系列]

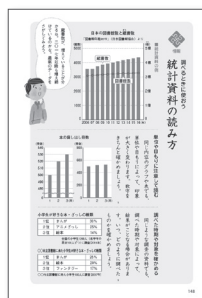
- 言葉による人間関係の構築に資することを期して、3年以上に1教材ずつ、対面による口頭表現に特化したコミュニケーションコラムを設け、系列化しました。

[他教科に関連する教材]

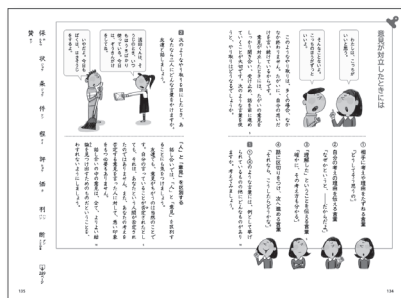
- 話題・題材について「算数」「社会科」「道徳」など、他教科等との関連が図れるように選定しました。また、学級生活・学校生活や日常の生活場面などにも題材を設定し、子どもたちが必然性をもって教材に臨めるように工夫しました。



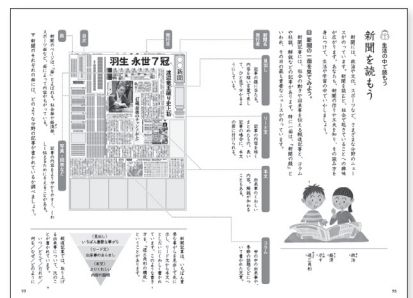
「つなげる・広げる」
(情報を扱う教材)



「統計資料の読み方」
(情報を扱う教材)



「意見が対立したときには」
(コミュニケーションコラム)



「新聞を読もう」
(社会科との関連)

2. 対照表

[第 5 学年]

	特に意を用いた点や特色	該当箇所
言葉の特徴や使い方	言葉や漢字に関する教材を通して、言葉の働きや文字・表記のきまりなどを知り、身につけることができます。また、言葉に関する特設単元「伝わる表現を選ぼう」を通して、相手や意図に応じた言葉を選択することの大切さを知り、適切に言葉を活用しようとする態度を育てます。【第一号】	44,78-79, 103-104,123, 124-125,136, 156-157,160, 186,199-201, 202-205, 216-217,218
情報の扱い方	情報に関する特設教材「つなげる・広げる」「原因と結果」「目的に応じて引用するとき」「統計資料の読み方」を通して、情報の関係性について理解したり、情報の整理のしかたを身につけたりすることができます。【第一号】	11,57, 70-71,148
我が国の言語文化	「古典の世界(一)」「古典の世界(二)」「古典芸能の世界—語りで伝える」「季節の言葉」を通して、語彙を拡充したり古典に対する知識を身につけたりするとともに、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養います。【第一号】【第五号】	36-37,64-69, 80-81,126-127, 154-155, 158-159, 180-181,
	「漢字の成り立ち」「和語・漢語・外来語」「方言と共通語」「日本語の表記」などを通して、言葉の由来や変化に対する知識を身につけることができます。【第一号】	34-35,58-59, 64-69,184-185, 216-217
	図書の分類を取り上げた「図書館を使いこなそう」を通して、図書館の活用のしかたを知り、公共心を育てるとともに、図書館を活用しようとする態度を育てます。【第三号】 「作家で広げるわたしたちの読書」や読書教材「カレーライス」を通して、個人の価値を尊重する態度を養うとともに、自主及び自律の精神を養います。【第二号】	32-33, 82-93
話すこと・聞くこと	インタビューをもとに友達を紹介する「教えて、あなたのこと」、多様な「さく」を経験する「きいて、きいて、きいてみよう」、特定の立場に立って意見を述べ合う「どちらを選びますか」、学校生活を題材にグループで話し合う「よりよい学校生活のために」、言葉の使い方について提案する「提案しよう、言葉とわたしたち」を通して、個人の価値を尊重する態度や、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。【第二号】【第三号】	12-13,38-43, 96-97,128-135, 211-215
書くこと	生活の中での気づきを俳句にする「日常を十七音で」を通して、豊かな情操を育むとともに、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養います。【第一号】【第五号】	60-63
	地域や学校の工夫を調べて報告する「みんなが過ごしやすい町へ」、社会の暮らしやすさについて統計をもとに考えを述べる「グラフや表を用いて書こう」、読み手が納得する意見文を書く「あなたは、どう考える」、本の推薦文を書く「この本、おすすめします」を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養います。【第三号】	72-77, 149-153, 174-179, 206-210
読むこと(説明的文章)	言葉やものの見方・捉え方について取り上げた「見立てる」「言葉の意味が分かること」を読むことを通して、幅広い知識と教養を身につけるとともに、他国の文化を尊重する態度を養います。【第一号】【第五号】	45-56
	メディアを読むことを取り上げた「新聞を読もう」「想像力のスイッチを入れよう」を通して、真理を求める態度を養います。【第一号】	98-102, 187-198
読むこと(文学的文章)	「固有種が教えてくれること」を読むことを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養います。【第四号】	137-147
	詩「かんがえるのって おもしろい」「からたちの花」「生活の中で詩を楽しもう」を読むことを通して、想像力と豊かな情操を育みます。【第一号】	14-15,94-95, 182-183
	物語「なまえつけてよ」「大造じいさんとガン」を読み、考えを共有することを通して、個人の価値を尊重する態度を養います。【第二号】	17-31,219-240
	戦争を題材とした物語「たずねびと」を読むことを通して、生命を尊ぶ態度や平和を希求する心を育みます。【第四号】【第五号】	105-122
伝記「やなせたかし—アンパンマンの勇気」を読むことを通して、正義と責任について考えるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養います。【第三号】	161-173	
付録	本編の学習と関連して扱うことができる内容を用意し、自主的な学習にも役立てられるようにしました。【第一号】	241-296

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学習上の参考に供するための資料

- 教科書の中で、「二次元コード」が示された場所には、学習の参考として、内容をさらに深めたり、興味・関心を高めたりすることにつながる資料を豊富に収めました。

生涯にわたる読書に親しむ工夫

- 教科書での学習と関連させながら、さまざまな角度から本に親しむ態度を広げられるよう、読書単元を設定しました。また、実際の図書館や展示コーナーの写真を豊富に掲載し、読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基盤となるよう工夫しています。
- 本を紹介するための「この本、読もう」や「本の世界を広げよう」では、実際の本の表紙写真を掲載し、子どもたちの興味・関心を高められるよう工夫しました。

漢字学習への配慮

- 高学年では、新出漢字を学習する際に、その漢字の全ての音訓を同時に学べるようにしています。漢字を教材の中で繰り返し学ぶことで、確実な定着を図ります。

特別支援教育への配慮

教科書のユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザイン（色覚特性）と、学習上支援が必要な児童のために、特に次の観点に配慮しています。

- 教科書の全てのページについて、専門家の校閲を受けています。
- 本文には、教科書のために特にデザインした自社作成の教科書体を用いています。この書体は、読みやすいのと同時に、書き文字に近いため、高学年の子どもたちが正しい字形を意識しながら学習することができます。
- 文字を確認しながら読んでいく「見やすさ」に配慮した低学年に対して、読書処理能力も高まり、「読み取ったことのもとに、物事を思考し理解していく過程をとる」中・高学年では、「読みやすさ」に配慮して、教材に通常の教科書体を使用しています。なお、「学習」（手引き）の「見通しをもとう」と「たいせつ」については、特に着目させるために、通常より太くした教科書体を使用しています。
- 紙面デザインは、子どもたちの学習のしにくさにつながらないように、特に配色や色調に注意をはらったり、文字と写真、写真と写真との区別が明確になるよう、罫線を入れたりしています。



編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-125	小学校	国語	国語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
38 光村	国語 507	国語五 銀河		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのが、ひと目で分かる教科書です。

学年冒頭の構成

【国語の学びを見わたそう】

- 5年生の国語の学習を確認し、見通しをもつ場です。アイスブレイクのための教材、詩や、思考ツールとして活用できる教材「じょうほう」、意識的に表現の機会を継続する「続けてみよう」とともに、学年冒頭の教材として構成しました。
- 「学習の進め方」によって学習のしかたを確認し、「五年生で学習すること」で領域ごとの教材とつきたい力を確認することができます。

「五年生の国語の
学びを見わたそう」



【言葉のじゅんぴ運動】

- 学年はじめの緊張する心と体を解きほぐすための教材です。道具を準備する必要はなく、学級全体で対話をしながら、みんなで学ぶ楽しさを知ることができます。5年には、友達を紹介する“他己紹介”を位置づけました。

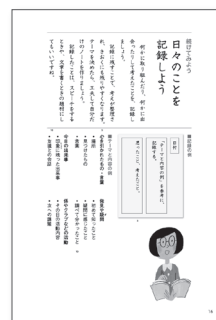
【続けてみよう】

- 帯单元として活用することができます。継続的に表現活動を行うことで、書くことへの抵抗感を減らしていきます。



コミュニケーションの素地を作る活動です。

「教えて、あなたのこと」
(言葉のじゅんぴ運動)



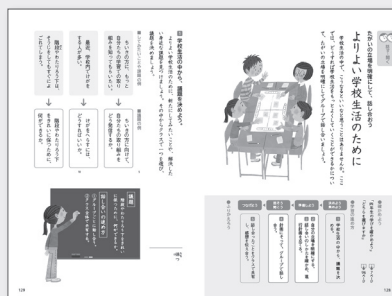
「日々のことを記録しよう」
(続けてみよう)

「思考力、判断力、表現力等」の単元構成



「話すこと・聞くこと」単元

- ・子どもたちの発達段階、学習の習熟度、目的性、必然性を考慮して、多彩な言語活動を系統的に位置づけています。
- ・主たる学習機会は年間5か所の単元で、「言葉の準備運動（ウォームアップ）」「耳を傾ける（受けて返す・聞く）」「対話のレッスン」「話し合う」「声を届ける（話す）」の学習を集中的に行うよう工夫しています。
- ・高学年の単元冒頭は、既習の学習を確かめる「確かめよう」→学習活動の流れが分かる「学習の進め方」→自己評価の観点である「ふりかえろう」という構成によって、学習の見通しをもつことができます。

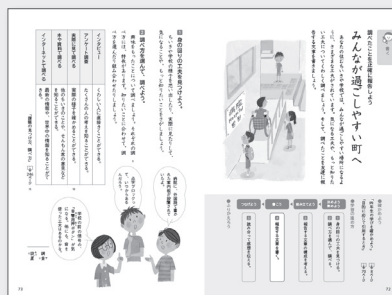


「よりよい学校生活のために」



「書くこと」単元

- ・子どもたちの発達段階、学習の習熟度、目的性、必然性を考慮して、多彩な言語活動を系統的に位置づけています。また、情報の扱いに関する教材「じょうほう」を新設し、表現していく際に活用できるようにしました。
- ・主たる学習機会は、年間5か所の単元で、「創作文」「意見文」「推薦文」などの学習を集中的に行うよう工夫しています。
- ・高学年の単元冒頭は、既習の学習を確かめる「確かめよう」→学習活動の流れが分かる「学習の進め方」→自己評価の観点である「ふりかえろう」という構成によって、学習の見通しをもつことができます。

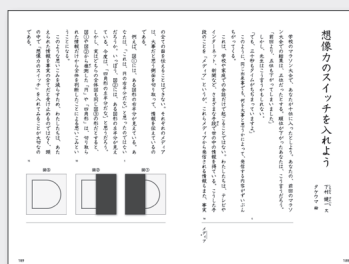


「みんなが過ごしやすい町へ」



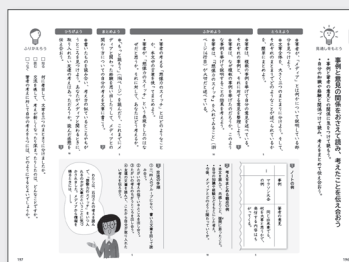
「読むこと」単元

- ・単元扉により、子どもたちが学習の目的をもって「読むこと」の学習に臨めるようにしています。
- ・「学習」(手引き)で設定した課題は、学習指導要領の「思考力、判断力、表現力等」の内容に沿い、学習過程を意識して学ぶことで確実な定着を旨としています。言語活動の方法を示しながら、内容理解につなげていく画期的な二段組み構造です。また、身につける力を確認し、汎用的な能力につなげる場として、「たいせつ」を設けています。
- ・文学的文章は、生命の尊さや人間尊重の精神を基本に、人権教育にも十分配慮し、多様な作品を偏りなく選んでいます。
- ・説明的文章は、人間尊重と自然尊重を基本とし、現代社会を生きるのにふさわしい話題や題材を選んでいます。
- ・絵や写真と文章を対応させて読んだり、表などを活用して考えを形成したりまとめたりする学習ができるよう工夫しています。



豊かに読み、確かな力をつける。それを螺旋的に繰り返していきます。

「想像力のスイッチを入れよう」



「想像力のスイッチを入れよう」(学習)

2

言葉の豊かさ、論理的思考力と感性を培う

—— 言葉を増やしなが、言葉に親しんだり、言葉を使って考えたりする力を育てる教科書です。

[言葉の特徴や使い方・漢字に関する教材]

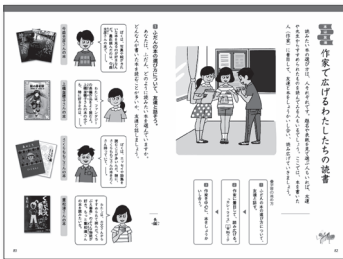
- 言葉のきまりや使い方に関する教材を偏りなく配し、言葉の力が確実に定着するように教材を構成しています。
- 漢字学習教材では、楽しみながら漢字の知識が身につけられるようにしました。また、学年6か所の「漢字の広場」は、前学年の漢字を集中的に学習し、定着を図る場としています。
- 語彙に関心を持ち、できるだけ多くの言葉を獲得できるように、巻末に「言葉のたから箱」を設定しました。

[読書活動単元]

- 広く読書に親しむ態度の育成と、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくための教材として、読書単元「本は友達」を年間2か所設けました。「作家で広げるわたしたちの読書」では、作家の重松清氏に着目して、読書生活を広げていきます。図書を紹介する「本の世界を広げよう」では、子どもたちが手にしやすいものを選定しています。

[我が国の言語文化を学ぶ教材]

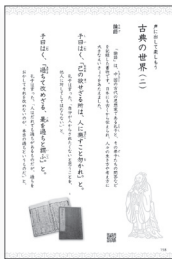
- 易しい文語調の文章や「論語」にふれる教材「古典の世界(一)」「古典の世界(二)」を設けています。
- 古典「枕草子」に書かれた日本の四季の興にふれるとともに、自分たちの身の回りの風景の中にある季節を見つけ、それを表す言葉の豊かさに気づくことを意図して、年間4か所「季節の言葉」を設けています。



「作家で広げるわたしたちの読書」
(読書活動単元)



「古典の世界(一)」
「古典の世界(二)」



「冬の朝」
(季節の言葉)

自分で見つけた季節の言葉を使って「書くこと」の活動につなげていきます。

3

国語の学びを、多方面へ広げ、深め、つなげる

—— 言葉を通して「学ぶこと」の楽しさと、人とつながる喜びを実感できる教科書です。

[情報の扱いに関する教材]

- 相手の考えを理解したり自分の考えを伝えたりするための、情報の扱いに関する教材「じょうほう」を学年に4か所設け、原因と結果や、統計資料の読み方などに関して学べるようになっていきます。

[付録・学習を深め広げる資料]

- 付録「学習を広げよう」では、「『たいせつ』のまとめ」「本の世界を広げよう」「言葉のたから箱」など、国語から他教科や日常生活に広げて活用することができる付録を充実させました。また、本編教材には随所に「関連マーク」を示し、教材の検索性やリンク性を高めました。
- 教科書の中に「二次元コード」が示してある場所には、子どもたちが学習を進める中の参考となり、さらに教材に興味・関心をもって、深い学びにつなげていける資料を収めています。

[学ぶことの楽しさに関する教材]

- 冒頭に、「言葉のじゅんぴ運動」を設けました。学年が始まる時の子どもたちの心と体の緊張を解きほぐす教材です。友達や先生と言葉を通じてコミュニケーションを図り、円滑な授業びらきを推進します。

教科書の特徴

編集上の留意点	
1 教育基本法・学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育基本法や学校教育法の理念の踏まえ、特に次の点に意を用いました。 <ul style="list-style-type: none"> ① 国語力及び学習の基盤的能力の育成、② コミュニケーション能力の育成、③ 豊かな心の育成、 ④ 情報社会を生き抜く力の育成、⑤ 社会の変化に対応する能力の育成 ◆ 学習指導要領の方向性に対応し、特に次の点で工夫し配慮しました。 <ul style="list-style-type: none"> ① 基礎的・基本的な知識・技能と活用力を身につける、② 論理的に思考し、表現する能力を養う、③ 豊かな情操と道徳心を養う、 ④ 伝統的な言語文化を尊重し、国語と郷土を愛する心を育成する、⑤ 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、自主・自立の精神を養う、 ⑥ 読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基礎を養う、⑦ 社会の形成者たる児童を育成する
2 内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材を選定・作成しています。 ◆ 各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるよう、学年内・学年間を見通して系統的に位置づけています。 ◆ 学習指導要領に示された言語活動例が、低・中・高それぞれの段階でもれなく扱えるように、教材を作成・配置しています。
3 配分・配列	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教科書全体を「単元」「コラム」「特設単元」で構成し、知識・技能の習得・活用・探究が繰り返されながら着実に身につけられるようにしています。 ◆ 発達段階と学習の持続性を考慮し、単元数に配慮して構成しています。 ◆ 3学期制、2学期制のどちらにも対応するよう、単元・教材数・領域のバランスを工夫しています。 ◆ 各学年巻末に、本単元の補充学習・発展学習に資するよう、資料となる教材を掲載しています。
4 教材の選定	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各学年を通じて、発達段階を考慮するとともに、児童の学習意欲を喚起すること、また、社会の形成者としての児童を育成するよう、その道徳的心情や道徳的判断力が育つことに配慮して、内容・題材を選定しています。 【入門期】(1年) <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育所との円滑な連携を図れるよう配慮し、児童が学校生活に慣れるとともに、その学習意欲を大事にすることを考えて教材を選定しました。 【話すこと・聞くこと】 <ul style="list-style-type: none"> 児童の日常生活、学校生活、学習場面に取材し、「話す・聞く・話し合う」ことの意義が感じられるように、発達段階に即して題材を選んでいます。また、学習活動からその後の振り返りの場に至るまで意図的・計画的に設定しています。 【書くこと】 <ul style="list-style-type: none"> 相手と目的の明確な話題・題材と児童がイメージしやすい場を設定することで、書く必要性和必然性を感じ、書く意欲が喚起されるよう工夫しています。また、教材から叙述までの表現過程を児童の実態に合わせて具体的に図示するなど、分かりやすく示しています。 【読むこと】 <ul style="list-style-type: none"> 児童の言語環境と発達段階に応じて、言葉の美しさが感得できる教材、家族や友人など他者への思いやりを育てる教材、他教科の内容に関連する教材、ものの見方・考え方を広げたり深めたりできる教材などを幅広く選定しています。 【言葉の特徴や使い方に関する事項】 <ul style="list-style-type: none"> 児童の言語生活や既習教材から素材を取り上げ、活動を通して知識を身につけるとともに、言葉に関する興味・関心が深まるよう、教材化を工夫しています。 【情報の扱い方に関する事項】 <ul style="list-style-type: none"> 話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりする能力を身につけられるよう、情報の扱い方に特化した教材「情報」を設けました。 【我が国の言語文化に関する事項】先人の遺産としての言語作品を貴重な図版等の資料とともに多く取り上げ、生涯の宝として身につけられるようにしました。
5 地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 話題・題材は、農村漁村・都市などの地域的な偏りを避けるとともに、国際的視野が育つように、バランスのとれた構成になっています。
6 他教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 他教科などとの関連が図れるように、話題・題材の選定において工夫しています。 【社会科】「新聞を読もう」「理科」「天気を予想する」 【算数】「グラフや表を用いて書こう」「福祉」「みんなが過ごしやすい町へ」など ◆ 学習活動面においても、他教科の学習で活用できるよう配慮しています。 「インタビューをするとき」、「目的に応じて引用するとき」、「伝わる表現を選ぼう」など
7 文字提出・表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 漢字学習は言葉の学習であると捉え、前学年漢字及び各学年担当漢字を全て本文中に提出しています。 ◆ 新出漢字は当該ページ欄外に語として抽出し、読みの負担を軽減しています。また、1教材での提出数を制限し、過重な負担とらないよう配慮しています。
8 挿絵・写真・図・グラフなど	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる挿絵・写真を適所に掲げています。また、点字見本のページ（「点字と手話」）のように、実際に触れて参考にする資料も設けています。 ◆ 「話す・聞く」「書く」教材や、「読む」教材の手引きに、種々の表、マップなどを配し、考えを形成したりまとめたりする技法として活用できるように工夫しています。 ◆ 非連続テキストの読み取りの学習について、文章中の図やグラフを読み取り、そこから情報を確認する教材を設けました。（「固有が教えてくれること」）
9 製本・印刷・活字など	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に、色覚特性に対応するために、配色・色調にも配慮しています。 ◆ 原料や製法についても、十分に配慮しました。環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。 ◆ 本文には、教科書のために特にデザインした自社作成の教科書体を用いています。読みやすいだけでなく、書き文字に近い形、正しい字形を意識させることができ、文字指導に効果的です。 ◆ 特に1・2年生では、文字量も少なく、一字一字を確かめる段階であることに配慮し、通常よりも太い書体を使用しています。 ◆ 巻末付録「本の世界を広げよう」では、教科書体に対応した読みやすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。
10 特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習上支援が必要な児童のために、またユニバーサルデザインに対応した教科書作りという観点から、特に以下の点に配慮しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報のまとまりが認識しやすいように、用語解説や覚えておきたい知識などはマークを付して示す。 ・ また、写真と写真の間を空けたり線で囲んだりして明確に区別できるようにする。（「古典の世界（一）」、「本の世界を広げよう」など） ・ 色覚特性に配慮して、色による識別に頼ることなく、形で識別できるように作成する。また、色を問うとする学習活動を設定しない。 ・ 説明の際は、色以外の情報も合わせて示すなどして教材化を図る。（「つなげる・広げる」、「あなたは、どう考える」）
11 幼稚園・保育所との連携、中学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校生活への不安をなくし、明るくスタートできるよう、1年の第一教材においては、児童が友達や先生と交流する場面を取り上げました。続く、「さあ はじめよう」には、幼稚園・保育所の体験をいかしながら、小学校での学びの基本的な姿勢作りを行う教材を位置づけています。 ◆ 5・6年は、学年1冊としています。高学年としての自覚を高め、中学校入学時の環境変化に適応するための配慮です。 ◆ 6年最後に、卒業単元として「卒業するみなさんへ」、小学校で身につけた力を確認できる「中学校へつなげよう」を位置づけました。
12 その他の配慮事項	<p>【言語活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ つけたい力（指導事項）と言語活動を単元冒頭に掲げて、児童が目的と見通しをもって学習に臨めるようにし、習得と活用が滑らかに行えるよう課題を設定するとともに、ここで身につけた力や考えたことが他教科や日常生活でいかせるよう配慮しました。 <p>【学習過程の重視】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「思考力、判断力、表現力等」の各領域において、学習過程を明確にした教材を設定しました。また、学習過程の中で、自分の考えを形成し、それを他者と共有することを重視しました。 <p>【読書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 読書に対する意欲を高め、読書の幅を広げ、読書を通して思考力や想像力を養うことを目ざして、次のような工夫をしています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特設単元「本は友達」に、多様なジャンルの作品を位置づけました。 ・ 各「読むこと」単元の手引き及び各巻末に、学年に適した本の紹介をまとめて、表紙写真とともに提示しました。 ・ 紹介する本は、人権教育の観点からも吟味・検討し、選定しました。 <p>【語彙を豊かに】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 2年以上の各学年4か所に「季節の言葉」を設け、日本人の季節感を育んできたさまざまな風景や風物などを言葉とともに取り上げると同時に、それらを題材にした韻文に触れることで、言語感覚を豊かに育成する工夫をしています。5年では、「枕草子」冒頭を四季に分けて提示しました。 <p>【言葉の学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各学年に言葉そのものを対象化して知識を得たり考えたりする教材を位置づけ、児童が言葉の世界の豊かさを体験するとともに、言葉の自覚的な使い手として育つよう配慮しています。 <p>【漢字の習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 漢字学習に関する教材を随所に設け、楽しみながら漢字の知識が身につくようにしています。また、2年は年間5か所、3年以上は年間6か所に「漢字の広場」を設け、前学年で学んだ漢字を集中的に学習し、文や文章の中で使える力となるよう工夫しています。

2. 対照表

[第 5 学年]

	学習指導要領の内容					該当箇所	配当時間
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			取り上げる題材についての観点		
		A 話すこと・ 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと			
教えて、あなたのこと	(1) ア	(1) エ (2) イ			(イ) 伝え合う力 (オ) 生活を明るくする意志	12-13	1
かんがえるのって おもしろい	(1) ケ			(1) オ・カ	(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	14-15	1
なまえつけてよ	(1) オ			(1) イ・エ	(カ) 他人を思いやる心	17-31	4
図書館を使いこなそう	(3) オ				(ウ) 適切に判断する能力	32-33	1
漢字の成り立ち	(3) ウ				(ア) 国語に対する関心	34-35	2
春の空	(1) オ (3) ア・イ		(1) ア・カ (2) ウ		(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解と愛情	36-37	2
きいて、きいて、きいてみよう 【コラム】インタビューをするとき	(1) ア・イ (2) イ	(1) ア・イ・エ (2) イ			(イ) 伝え合う力 (ウ) 公正かつ適切に判断する能力	38-43	6
漢字の広場①	(1) エ		(1) オ		(ア) 国語に対する関心	44	1
見立てる 言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果	(1) オ (2) ア			(1) ア・オ・カ (2) ア	(イ) 伝え合う力、想像力、言語感覚 (エ) 科学的、論理的に物事を捉える力 (コ) 世界の風土や文化などの理解	45-57	7
和語・漢語・外来語	(3) ウ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	58-59	2
日常を十七音で	(1) オ・ク・ケ		(1) オ・カ (2) イ		(イ) 言語感覚 (ク) 我が国の伝統と文化	60-63	3
古典の世界 (一) 【情報】目的に応じて引用するとき	(1) オ (3) ア・イ・ウ (2) イ		(1) ア		(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解と愛情 (ウ) 公正かつ適切に判断する能力	64-69 70-71	2 2
みんなが過ごしやすい町へ	(1) カ		(1) ア・イ・エ・カ (2) ア		(エ) 視野を広げる (ケ) 社会の発展を願う態度	72-77	10
同じ読み方の漢字	(1) エ				(ア) 国語に対する関心	78-79	2
夏の夜	(1) オ (3) ア・イ		(1) ア・カ (2) ウ		(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解と愛情	80-81	2
作家で広げるわたしたちの読書 カレライス	(3) オ			(1) オ・カ (2) イ	(ア) 国語に対する関心 (オ) 生活を明るくする意志	82-93	5
からたちの花	(1) ク			(1) オ・カ	(イ) 想像力、言語感覚	94-95	1
どちらを選びますか	(1) オ・カ	(1) ア・イ・オ (2) ウ			(エ) 論理的に物事を捉える力	96-97	2
新聞を読もう	(1) カ			(1) ア・ウ (2) ウ	(ウ) 公正かつ適切に判断する能力	98-102	3
敬語	(1) ア・キ				(イ) 言語感覚 (ウ) 生活を明るくする意志	103-104	2
たずねひと	(1) オ			(1) イ・エ・オ・カ	(カ) 生命を尊重する心 (コ) 国際協調の精神	105-122	6
漢字の広場②	(1) エ		(1) オ		(ア) 国語に対する関心	123	1
漢字の読み方と使い方	(1) エ				(ア) 国語に対する関心	124-125	2
秋の夕暮れ	(1) オ (3) ア・イ		(1) ア・カ (2) ウ		(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解と愛情	126-127	2
よりよい学校生活のために 【コラム】意見が対立したときには	(1) オ・カ (2) ア・イ	(1) ア・イ・エ・オ (2) ウ			(イ) 伝え合う力 (オ) 生活を明るくする意志	128-135	6
漢字の広場③	(1) エ		(1) オ		(ア) 国語に対する関心	136	1
固有種が教えてくれること 【情報】統計資料の読み方 グラフや表を用いて書こう	(1) オ・カ (2) イ (3) オ		(1) ウ・エ・オ (2) ア	(1) ア・ウ (2) ウ	(エ) 科学的、論理的に物事を捉える力 (キ) 自然を愛する心 (ケ) 国家、社会の発展を願う態度	137-153	11
古典芸能の世界一語りで伝える	(3) イ				(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解と愛情	154-155	1
カンジー博士の暗号解読	(1) エ				(ア) 国語に対する関心	156-157	2
古典の世界 (二)	(1) ケ (3) ア				(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解と愛情	158-159	1
漢字の広場④	(1) エ		(1) オ		(ア) 国語に対する関心	160	1
やなせたかしーアンパンマンの勇氣	(1) オ			(1) イ・オ・カ (2) イ	(オ) 強く正しく生きる意志	161-173	5
あなたは、どう考える	(1) オ・カ		(1) ア・イ・ウ・オ・カ (2) ア		(エ) 論理的に物事を捉える力	174-179	6
冬の朝	(1) オ (3) ア・イ		(1) ア・カ (2) ウ		(ク) 我が国の伝統と文化に対する理解と愛情	180-181	2
生活の中で詩を楽しもう	(1) オ・ク・ケ (3) オ			(1) エ	(イ) 想像力	182-183	2
方言と共通語	(3) ウ				(ア) 国語に対する関心、国語を尊重する態度	184-185	2
漢字の広場⑤	(1) エ		(1) オ		(ア) 国語に対する関心	186	1
想像力のスイッチを入れよう	(1) カ			(1) ア・オ・カ (2) ア	(ウ) 公正かつ適切に判断する能力	187-198	6
複合語	(1) ウ・オ				(ア) 国語に対する関心	199-201	2
伝わる表現を選ぼう	(1) ア・オ・カ		(1) オ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	202-205	3
この本、おすすめします	(1) ア・オ		(1) ア・ウ・オ・カ (2) ア		(オ) 生活を明るくする意志	206-210	7
提案しよう、言葉とわたしたち	(1) ア・イ・オ・キ	(1) イ・ウ (2) ア			(オ) 生活を明るくする意志	211-215	6
日本語の表記	(1) ウ (3) ウ				(ア) 国語に対する関心、言語感覚	216-217	1
漢字の広場⑥	(1) エ		(1) オ		(ア) 国語に対する関心	218	1
大造いさんとガン	(1) オ・ケ			(1) イ・エ・オ・カ	(カ) 生命を尊重する心 (キ) 自然を愛する心	219-240	6
					合計時間	145	